Sign in



JP53112273

Search Advanced Search Preferences

Web

Results 1 - 2 of 2 for JP53112273. (0.04 seconds)

Did you mean: JP 53112273

Method to minimize chemically bound nox in a combustion process ... DE2855766, June, 1979, 431/5. **JP53112273**, September, 1978, 423/235, NOX REDUCTION METHOD USING UREA. Other References: "NOxTech: A New NOx Reduction System ...

www.freepatentsonline.com/5**707596**.html - <u>Similar pages</u> by DA Lewandowski - 1998 - <u>Cited by 1 - Related articles - All 4 versions</u>

Methods for chemically reducing nitrogen oxides - Patent 4626417

JP53112273, September, 1978, 423/235, NOX REDUCTION METHOD USING UREA.
JP53115658, October, 1978, 423/235. JP5443471, December, 1979, 423/235...
www.freepatentsonline.com/4626417.html - Similar pages
by DC Young - 1986 - Cited by 22 - Related articles - All 2 versions

In order to show you the most relevant results, we have omitted some entries very similar to the 2 already displayed.

If you like, you can repeat the search with the omitted results included.

Did you mean to search for: JP 53112273

JP53112273

Search

Search within results | Language Tools | Search Tips | Dissatisfied? Help us improve | Try Google Experimental

Google Home - Advertising Programs - Business Solutions - Privacy - About Google

Sand 00 6,707,596

19日本国特許庁

公開特許公報

⑪特許出願公開

昭53—112273

(1) Int. Cl.²
B 01 D 53/34 //
C 01 B 21/02

識別記号 106 毎日本分類 庁/13(7) A 1114 D 12

庁内整理番号 7305-4A 7059-41 ⑬公開 昭和53年(1978) 9月30日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

砂尿素によるNOx還元方法

②特

額 昭52-26991

②出

願 昭52(1977)3月14日

⑫発 明 者

益子庄一 呉市宝町6番9号 バブコック

日立株式会社呉工場内

亓

0

成田恒雄

呉市宝町6番9号 バブコック 日立株式会社呉工場内 郊発 明 者 小山勲

呉市宝町6番9号 バブコツク

日立株式会社呉工場内

同 三田武雄

呉市宝町6番9号 バブコツク

日立株式会社呉工場内

⑩出 願 人 バブコック日立株式会社

東京都千代田区大手町二丁目6

番2号

四代 理 人 弁理士 岡田梧郎

明 絈 ;

1.発 明 の 名 称

尿素によるNOx還元方法

2. 特許請求の範囲

- 1. 尿素を還元剤として窒素酸化物含有ガスの 高温域に供給し窒素酸化物を還元除去すると とを特徴とする尿素によるNOx還元方法。
- 3. 尿素を水に溶解し高温の窒素酸化物含有ガスに供給することを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の尿素によるNOx還元方法。

3.発明の詳細な説明

この発明はポイラ等燃焼装慮排ガス中に含まれる窒素酸化物以下(NOxと称す)を還元剤で 還元除去する方法に関する。

従来NO×の選元除去の方法についてはアンモニア(NH,)を使用することが知られているが濃

摩のアンモニアガスは有害でかつ刺激の強いガスであり、NH。は加熱により分解するもので、高温のNOxガス中に如何にして分解することなく均一に分布するか、又80。ガスとの反応によるノズルの閉塞を如何にして防止するか等種々の解決せねばならぬ問題をもつものである。

この発明は従来その使用を試みられていなかった尿素を還元剤として使用するNOx 避元方法を提案することを目的とする。

尿素の化学式はCO(NH₄),で示され炭酸のジアミドにあたるものである。尿素は無色柱状の結晶をもち水に溶け易く、その溶液は中性である。化学構造式から判るようにNH₄-2個を有するものでNH₄の废元過程におけるNH₄の作用を期待することができるごとに着目し取り上げるものであり発明者等が実験した結果では尿素は取扱いも容易でかつNOx除去の効果の大なることが判った。

本発明を第1図によって以下に説明する。 燃料はパーナ3によって燃焼室1円に供給され

特問 明53-112273(2) 場合には、この二段感焼用空気口とか、感焼室 出口近傍とかに設置すればよい。

また尿素の供給方法の一例を第1図により説明する。尿素は水にとけやすいことから、ホッパ6から粉状の尿素を又質路7からは溶解用の水を混合槽8に供給し尿素の水溶液をつくっておく。ついで噴霧媒体たる質路10からの水を例えばベンチェリー構造の混合器9に供給し、、この音路11を緩由しベンチェリースロート部に供給される濃厚尿素と混合し、ついで噴霧ノズル12から高温の符号4で示される注入範に供給する。このようにすると尿素の水溶液は低小水滴として高温のNOx含有ガスとよく混合し、しかもそこにおいて水分を蒸発し終り、尿素を高温NOxガス中に均等に分解することなく供給しNOx除去の効果を高めるものである。

要するにこの発明は以下の特徴を有する。

(1) 尿素を還元剤として盒素酸化物含有ガスの 高温域に供給し窒素酸化物を遺元除去する尿 素によるNOx還元方法であること。

O て燃糖する。燃料はパーナ3 によりこの燃焼室 内で燃焼を完了し燃焼ガスは燃焼室出口5 に設 けられた過熱器2 を通った後後流側の機器を経 て煙突より大気に放出される。

燃掘室での燃焼ガス温度はパーナ近傍で千数 百度に達する。この燃焼ガスは、燃焼室で熱吸 収され火炉出口ではおおよそ900~1000で近辺 である。

度元剤注入によるNOxの減少率を脱硝効率として表現すれば、尿素を燃焼室の高温燃焼ガス 域に注入した実験データによれば、尿素注入の 脱硝効率は燃焼ガス温度が950で以上で向上し、 1100ででその脱硝効率は60%程度となることが 確められた。逆に燃焼ガスの温度800でのもと に尿素を注入した場合は脱硝効率はほとんど零 に等しい。

このことから尿素を用いたNOx還元反応を高 効率とするには、第1図に示すようにパーナか ら火炉出口までの注入範囲4の中で選元剤を注 入すると良い。具体的には二段燃焼設備がある

- (2) 尿素を還元剤とし900℃以上の窒素酸化物 含有ガスに供給する尿素によるNOx遺元方法 であること。
 - (3) 尿素を水に溶解し高温の窒素酸化物含有ガスに供給する尿素によるNOx 選元方法であること。

この発明を実施することにより以下の効果が 得られる。

- (2) 注入ノメルは燃焼室前面、後面などに配置 出来るためにノメルは、
 - (イ) 設置位置による制約が少い。
 - (中) 燃焼室に均一に注入するためには燃焼室 外部でノズル数を自由に選択出来る。
 - (r) 燃焼窒臭にノメルを挿入する必要がない。
 - (コ) (1項によりノメルの冷却設備が軽減出来 る。
- (3) 水溶液を使用するので尿薬を分解させることなく900 で以上の高温雰囲気に送り、NOx

含有ガスと充分に混合させ脱硝効果を高いも のにすることができる。

4.図面の簡単な説明

第1図はこの発明を実施するための装置の構造を示す。

1 … 燃 箲 室

2 … 過熟器

3 … パーナ

4…高温ガス区域で尿素注入に適する範囲

5 … 燃焼室出口

6…尿素のホッパ

7 … 管 路

8 … 混合槽

9 … 混合器

10 … 噴霧媒体の供給の管路

11 …管路

12… 噴霧ノズル

代理人弁理士 岡 田 梧 郎



第1図

